

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（口頭要請）

令和7年12月8日、防衛省北関東防衛局から「12月1日、熊川児童館屋上で熊川児童館職員により米軍のものと思われるものが発見された」、「米軍に確認したところ、これは米軍のものであり、11月20日に米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地した。切り離した主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地外に落下した。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘（パイロットシート）であった」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供されました。これを受け、当協議会は、国と米軍に対して、12月9日、今回のパラシュート落下の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないことなどを要請しました。

その後、12月19日、防衛省北関東防衛局から「米軍が、福生市内熊川児童館敷地内に許可なく立ち入り回収した」などの追加情報が提供されました。

基地外へのパラシュートの一部の落下は、一歩間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。また、許可なく市公共施設敷地内に立ち入りしていたことは問題です。

貴職においては、このような状況を十分認識され、12月9日付で要請した内容について対応するとともに、基地に起因する事故等が発生した際には、関係自治体に迅速に情報提供することを要請します。

令和7年12月22日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニ一大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	小池百合子	百介史	子大山栄
副会長	昭島市長	臼井伸大	井藤大育泰	島弘
	立川市長	酒加山	崎本	
	福生市長	橋山	崎	
	武藏村山市長			
	羽村市長			
	瑞穂町長			